

ふちゅう歴史散歩

Vol.55

古代の山陽道と 発掘された前原遺跡



建物跡：赤いカラーコーンが柱のあった場所

前原遺跡は、福塩線の建設工事の際、奈良時代の瓦が大量に出土したことで発見された遺跡です。発見当時は寺院跡などと考えられていましたが、現在では「芦田駅家」跡と考える説が有力になっています。

駅家とは、都と地方を結ぶ道路に一定の距離ごとに置かれていた施設で、乗り継ぎ用の馬が準備されており、現在の高速道路のサービスエリアのようなものでした。

都と九州の大宰府を結ぶ古代の山陽道は、最も重要な路線とされ、外国からの使節が通ることもありました。そのため山陽道の駅家は、瓦葺き・白壁・朱塗りの柱の豪華な建物であったといわれています。

前原遺跡では、最近の発掘調査で、奈良時代の建物跡、瓦葺きの築地塀跡、古代山陽道の側溝の可能性がある溝などが明らかになりました。中でも掘立柱建物は、巨大な建物といってもいい大きさです。

前原遺跡は、調査や研究の進展が期待され、国府との関係も含めて全国的に注目されている、重要な遺跡です。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

高校生編 その20



投稿者 (文と写真)

府中東高校1年生

⑤大石吏那さん

⑥岡本真実さん

2つの石碑

府中公園から首無し地蔵に向かう途中、2つの石碑があります。1つ目が「忠霊塔」、2つ目が「平和の塔」です。

どちらも戦争の犠牲者の冥福と平和を祈りつくられたものだと思います。『戦争』私たちはそれがどれほど恐ろしいことなのか分かりません。あの場にいた人にしか分からないことがあるからそう思います。

だからこそ私たちが戦争体験を未来に伝えていかななくてはならないと思います。2つの記念碑も私たちに残したメッセージだと思いました。今年は戦後70年です。最後に、『平和の塔』に「塔について先生や家の人と話し合ってください」と書かれていました。



平成27年11月1日(1206)号

広報ふちゅう

(毎月1・15日発行)



ご意見、ご感想をお寄せください。

編集発行：府中市人事秘書課

〒726-8601 広島県府中市府川町315

☎0847-43-7111 (代表)

☎0847-43-7194 (広報担当)

HP <http://www.city.fuchu.hiroshima.jp/>

HP 《携帯版》 <http://city-fuchu-m.plimo.jp/>

※右のQRコードからアドレスを読み取ることができます。

